



藤本 みのる 通信

Vol 216

2016年2月23日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

雇用の場をどのように創出するか

「総合戦略」では今後5年間の施策をかかげていますので、「雇用について」市の考えを紹介します。市は大規模企業の誘致にこだわらず、地域資源を活かした雇用機会の創出をめざすとしています。

1、遊休地の活用による企業誘致

平成31年度までに3社の新規誘致を目標
28年度より、企業誘致体制を確立

(注) 学校跡地は住民の理解が大前提。避難場所の確保を初め安心安全第一で丁寧な対応が必要です

2、木質バイオマス発電事業の推進

28年度より、発電事業者や林業関係者と連携し、森林整備推進の仕組みづくりを検討。林業作業は経験が必要となるため、森林組合等の協力を得ながら林業者の育成に努める

3、業種横断的な取り組みの促進

大月産農産物の安定供給や商品開発、販路拡大など農商工観光が連携する体制の確立

4、起業家の育成、創業の誘致

大月短大及び県内大学機関等と連携し、地域課題解決型のビジネスの創業を支援

5、首都圏通勤者への支援

大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(修正案)

平成28年2月
山梨県大月市

「大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略」年度内策定

1月の議員定例懇談会につづき、2月にも「総合戦略」の報告がありました。

□計画期間 5年間

平成27～31年度

□基本的な考え方

人口減少の克服・地方創生

□策定の経緯

市民会議、市議会の研究会等の提言をふまえ、市長を委員長とする委員会で決定。

【藤本みのる活動日誌】

2月17日(水) 民医連2000万署名学習会(講師)

2月18日(木) 国民健康保険運営協議会

2月19日(金) 東部広域連合議会定例会